

新しい年を迎えたら私立高校専願入試だ！

□三者面談が始まり、いよいよ自分の進路決定をする時になりました。願書を書くことで気持ちが高まってきたと思います。2021年（丑年）を迎えるとすぐに日田地区前期入試、高専推薦入試や久留米地区の専願入試が始まります。特に専願入試を受ける人たちは、そこが第一志望の高校、「絶対に行きたい」高校です。それだけに「受かりたい」思いを強く持っていることと思います。「緊張するな」と言うほうが無理かもしれませんが、落ち着いて試験にのぞみ、持っている力を全て出しきって欲しいと思います。その為にも冬休みの生活は重要です。生活のリズムを崩さずに計画的な学習を心がけてください。体調を崩したり、生活がいい加減になれば、不安を抱えながら入試に臨むこととなります。コロナ感染対策もしっかりとやって、インフルエンザを含めくれぐれも気をつけてください。

これだけは守ろう・・・面接で注意すること

三学期になれば面接の練習をしていきます。練習の中でも注意を受けるとは思いますが、大切なことをもう一度確認しましょう。

この冬休みで家庭でもしっかりと練習をすると思います。

***きちんとした服装・頭髪・態度で・・・第一印象が大切です。**

***面接室だけが面接の場ではありません。**

控え室で騒いだり面接室を出てから解放感のあまり大声を出したりしない。

控え室の態度もチェックされています。

★「終日面接」という学校もあります。一日中どこかで見られています。

***きびきびした動作で、「ながら動作」をしないこと。**

ドアを閉めながら歩く、動きながら礼をする。礼をしながら座る。しゃべりながら立ち上がる・・・など「ながら動作」はダメ、一つ一つをていねいに！

***面接官の顔を見て聞く・話す**

下を向いたり、よそ見をしたりしない。視線は相手の目または胸元に。

***きちんとした言葉づかい、はきはきと適度の声の大きさで。**

判断力・表現力・正しい敬語の使い方を見られています。

ボソボソとつぶやいたり必要以上の大声でどなったりしない。

***質問が聞き取れない、意味が分からないときは聞き返す。**

黙ってはいけません。「もう一度お願いします」または、「いま言われましたのは・・・という意味ですね。」と確認してもよいでしょう。

***答えきれないときは素直に言うこと。「分かりません」「知りません」**

「えーと、それは・・・」といたずらに時間をかせいだりしないように。

雰囲気と大切に

いよいよ入試の年を迎えます。三学期は授業中や休み時間の雰囲気を今まで以上に大切にしていきたいと思います。二学期後半は職員室前で友達と勉強をする人も増え、しだいにいい雰囲気に変わってきました。それぞれがめざす目標に向かって最後の追い込みに入ってきたと感じています。3年生のこの時期のピーンと張りつめた空気、なんでも吸収してやろうという空気は、独特なものがあります。みんなが頑張っている雰囲気、ピリツとした雰囲気を壊さないで三学期のスタートをきりましょう。

友達ががんばっている姿を見て、あなたが「がんばろう」と思うように、あなたが、がんばっている姿が友達の励みになります。

合格するおまじない・・・でも実力で！

絵馬も「五角形」

その1 「カール」を食べる（うカール）味は個人的にはコンソメか？

「コアラのマーチ」を食べる。（コアラは木から落ちない）

その2 今夜のおかず、弁当のおかずは・・・

とんかつ（入試に勝つ）定番です！

れんこん・ちくわ（穴があるので先が見える・通る）

その3 手のひらに「5」の字を書く（ごをかく→ごうかく）

その4 試験会場で「つま先立ち」をしている人（背を高くして Tall（トール）

試験前に疲れそうではありますが・・・

